



学校だより

かりがね

富士市立岩松中学校
令和6年10月学学結果号

学校教育目標 「いつでも自分から動く子」「わたしもあなたも大事にする子」「学びを楽しみ、表現する子」「つながりながら成長する子」

令和6年4月18日に全国学力・学習調査が実施され、結果が届きました。本号では、結果からわかる本校の成果や課題などについて考察し、これからの指導に生かしていきたいと思えます。また、質問紙からわかる課題については学校だけでなく、保護者の皆様のご理解とご協力を得ながら考えていきたいと思えます。どうぞよろしく願います。

～全国学力・学習調査とは～

全国学力・学習状況調査は、小学6年生と中学3年生を対象に行われています。文部科学省や教育委員会が全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることが目的です。学校には、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てることが求められています。

この調査は、「教科に関する調査」と生活習慣や学習環境に関する「質問紙調査」で構成されています。「教科に関する調査」は、知識・技能、思考力・判断力・表現力等は、相互に関係し合いながら育成されるものという新しい学習指導要領の趣旨を踏まえ基礎知識と活用力を一体的に問うように構成されています。「質問紙調査」では、学校や家庭での生活に関する項目で構成されています。

国立教育政策研究所
調査問題・正答例・解説資料



本校の調査結果と課題

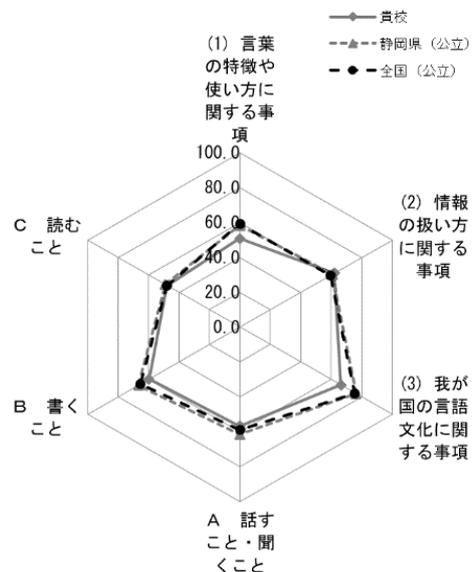
1 全国学力学習状況調査の各教科の状況から、調査から本校の生徒の調査結果と課題を検討しました。

【国語科】

- 意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。
- 文章の全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えることができる。
- 短歌の内容について、描写を基に捉えることができる。
- 表現技法や、文法事項について知識を定着させることに課題がある。
- 自分の考えを相手に伝わるように正確に書くことに課題がある。
- 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することに課題がある。

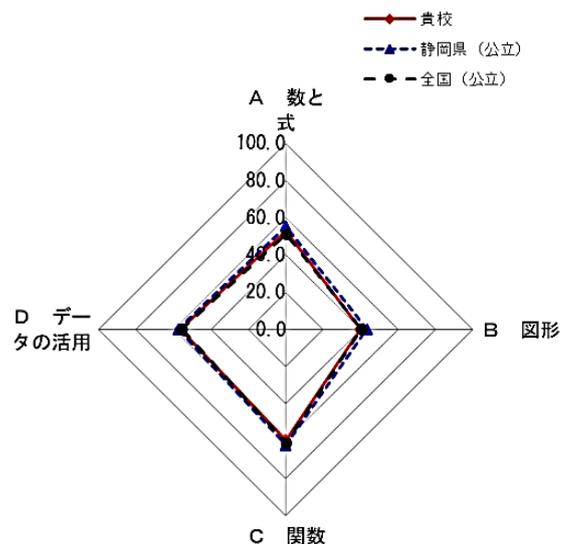
～考察～

授業において、本文の内容を読み取り、自分の言葉で説明したり表現したりする活動を多く取り入れていることもあり、内容読解で全国平均を上回る結果でした。文章と図を結び付けることに課題があるので、図表を用いながら説明する機会を授業の中で設けたいと思えます。また、語彙を、言葉を吟味する力を養うために、書いた文章を読み直し、表記や語句の用法、叙述の仕方を確かめ、読みやすく分かりやすい文章に表現できるように努めていきたいと思えます。



【数学科】

- 静岡県、全国の平均と概ね変わらない推移である。
- 規則性のある問題を抽象的に捉え数理化することができる。
- グラフと式の関係について事象を解釈することができる。
- 与えられたデータから必要な代表値(情報)を整理し、抜き出すことができる。
- 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用い説明することに課題がある。
- 理想化・単純化され数理的に表現された事象に即して解釈することに課題がある。
- 筋道を立てて考え、証明することに課題がある。



～考察～

全国と概ね変わらない推移のため、必要な学力は定着しているようです。本校が得意としている計算分野やデータの分野では、事象から数理化する力が高められています。協同的な学習を通して表現する力を高めていきます。

学年の傾向として強みである数理化する力を応用、発展させながら説明すること、解釈することにより一層の力を入れていきたいと思えます。

【学習状況調査(児童生徒質問紙)】

- 毎日学校に行くことを楽しいと思っている生徒が多い。
- 友達との関係に満足している生徒が多い。

～考察～

学校での生活について、上記の項目が8割以上でした。本校では、学校教育目標にある「わたしもあなたも大事にする子」の育成を目指し、互いを認め合えるような場面をつくるとともに、道徳科や特別活動の授業を活用しています。ぜひ学校での様子についてもご家庭で話を聞いていただけますと幸いです。

- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている生徒が多い。

- 平日の携帯電話・スマートフォンの SNS や動画視聴等の利用時間が長い生徒が多い。

(3時間以上利用している生徒:40.0%)

～考察～

携帯電話・スマートフォン等の使い方について、家での約束を守っている生徒が多いようです。一方で、SNS や動画等の利用時間が長い生徒も多く見受けられます。

近年、情報技術と上手に付き合う力が求められています。対面とデジタルでのコミュニケーションの違いや、SNS の危険性について、ご家庭でもお話いただくと良いかもしれません。学校では、タブレットの使用を通して、情報モラルを身に付けることができるように指導して参ります。